

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 5月 1日	
佐賀県知事 山口祥義 殿	
提出者 住 所 佐賀県小城市三日月樋口981 氏 名 株式会社 大義建設 代表取締役 大家 良太郎 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0952-73-4545	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 大義建設
事業場の所在地	佐賀県小城市三日月樋口981
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	92,000万円
③ 従業員数	52人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排出量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) 手直し工事をなくす		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラ・紙くず・木くずを現場で分別する

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
(今後実施する予定の取組) 特になし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	特になし	特になし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	特になし t	特になし t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全処理委託量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組)		
特になし			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第1面)

当該事業場において現に行っている事業に関する事項													
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発生源</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 0 10px;">廃棄物</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">処理・処分</div>	<p>全て委託処理</p>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">各現場</div>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">がれき類</td> <td>→ 破砕(中間処理)→再生利用(路盤材料)、最終処理</td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック</td> <td>→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理</td> </tr> <tr> <td>混合(安定型)</td> <td>→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理</td> </tr> <tr> <td>汚泥</td> <td>→ 固化(中間処理)→最終処理</td> </tr> <tr> <td>木くず</td> <td>→ 破砕・焼却(中間処理)→再生利用(堆肥チップ)、最終処理</td> </tr> <tr> <td>混合(管理型)</td> <td>→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理</td> </tr> </table>	がれき類	→ 破砕(中間処理)→再生利用(路盤材料)、最終処理	廃プラスチック	→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理	混合(安定型)	→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理	汚泥	→ 固化(中間処理)→最終処理	木くず	→ 破砕・焼却(中間処理)→再生利用(堆肥チップ)、最終処理	混合(管理型)
がれき類	→ 破砕(中間処理)→再生利用(路盤材料)、最終処理												
廃プラスチック	→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理												
混合(安定型)	→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理												
汚泥	→ 固化(中間処理)→最終処理												
木くず	→ 破砕・焼却(中間処理)→再生利用(堆肥チップ)、最終処理												
混合(管理型)	→ 破砕(中間処理)→再生利用、最終処理												

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
責任者及び管理組織		
統括責任者		所属:株式会社 大義建設 職: 事業本部長
廃棄物担当者		組織名:品質・環境管理部 組織人数:1人 職: 土木部ISO担当
役割	環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理に関する検討 ○ 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・ 委員長 — 事業本部長 ・ 委員 — 営業本部長、管理本部長、土木部長、施工本部長 ・ 事務局 — 土木部 (ISO担当)
	廃棄物処理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○ IS014001環境要領の適正処理作業要領承認 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当部長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 廃棄物処理計画書の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項
	現場代理人	○ 委託契約の締結
<p>廃棄物管理組織</p> <pre> graph TD A[事業本部長] --> B[土木部 (ISO担当)] B --> C[営業本部] B --> D[管理本部] B --> E[土木部] </pre>		

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項													
①現状	【前年度(令和5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず							
	排出量	1,582.690 t	3.780 t	6.160 t	24.640 t	3.030 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず							
	排出量	500.000 t	3.000 t	5.000 t	20.000 t	2.000 t	t	t	t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
①現状	【前年度(令和5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず							
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
①現状	【前年度(令和5年度)実績】												
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず							
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t
②計画	【目標】												
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000								
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず								
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】													
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず								
	全処理委託量	1,582.690	3,780	6,160	24,640	3,030								
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000								
	再生利用業者への処理委託量	1,582.690	3,780	6,160	24,640	3,030								
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000								
②計画	【目標】													
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック	混合(安定)	汚泥	木くず								
	全処理委託量	500.000	3,000	5,000	20,000	2,000								
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000								
	再生利用業者への処理委託量	500.000	3,000	5,000	20,000	2,000								
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000								
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000								